



第140号 2018年3月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な内容

明治維新150年祭	P2
ズームアップ 松浦勉(東京都)	P6
101歳の洋画家 入江一子(東京都)	P7
ジオパーク専門員 白井孝明(萩市)	P8
一皿フレンチと酒の店 ブラッスリー・ラボ(萩市)	P9
連載 萩の産業遺産を歩く⑤	P10
小中学校の統廃合	P12

春には約500本のソメイヨシノが咲き誇る桜の名所、萩城跡・指月公園。志都岐神社に向って右手の狛犬に添うように、遠目に見ると淡い緑色に見える珍しい桜「ミドリヨシノ」が一本立っている。白色の花びらに緑色のがくが特徴で、国内では萩でしか発見されていない。ミドリヨシノが散り始めると、ソメイヨシノが満開を迎える。

萩市の高齢者写真教室「シャッターチャンスほほえみ」のメンバー、神野照子さん(平安古町、89歳)の撮影。

ミドリヨシノとソメイヨシノ 競い合い



萩・明治維新 150年祭

1868年は明治維新の年。日本が封建的な幕藩体制から中央集権的な近代国家へ転換した年です。

松陰神社の一角に「明治維新胎動之地」と刻まれた石碑が建っています。松下村塾で学び、吉田松陰の「志」を受け継いだ多くの志士たちが、明治維新、そして近代日本の礎となりました。

萩市は「明治維新150年祭」として、日本の近代化の礎を築いた若者たちを育てたまちとして、次代を担う人づくりにつながる事業を展開します。



石碑「明治維新胎動之地」1968年、明治維新100年を記念して建立。揮毫は故佐藤栄作元首相（松陰神社内）



オープニングイベントの「歴史パフォーマンス」

■オープニングイベント

「萩・明治維新150年オープニングイベント」の開会式が、1月20日、萩市民館で開かれ約650人が参加した。藤道健二萩市長が主な記念イベントを紹介し、萩・魅力PR大使の任命式、吉田松陰の志に関する講演が行われた。藤道市長は「多くの人に萩を訪れていただけるように、維新150年の幕開けを全国に発信する」とあいさつした。

■主な記念イベント

・5月15・16日 囲碁の本因坊戦七番勝負の第1局が萩・明倫学舎で開かれ、国民栄誉賞を受賞した井山裕太九段が対局する。



井山裕太九段

・9月15日～10月14日 萩博物館で特別展「手塚治虫が描いた明治維新」を開催。

・10月23日 明治改元の日に合わせ記念式典を行い、ノーベル生理学・医学賞を受けた京都大学・山中伸弥教授による特別講演。



山中伸弥教授

・12月16日 萩城下町マラソンにゲストランナーとしてシドニーオリンピック女子マラソンで金メダルを獲得した高橋尚子さんが参加。前日15日にトークショー。



高橋尚子さん

■萩・魅力PR大使

県内外の240人を任命した。任命式では山口県出身のタレント波田陽区さんと最年少の明倫小1年の中原瑠衣さんが任命証を受け取った。

萩ネットワーク会員の皆様には、12月にお申し込みしたところ多くの方にお申し込みいただき、ありがとうございます。ご就任いただいた大使の方には、萩の魅力を伝える伝道師として魅力発信についてご協力をお願いします。



▷魅力PR大使の波田陽区さん（左）と藤道市長

地域別（計240人）
萩市56人、山口県72人（萩市除く）
北海道1人、関東60人（うち東京都36人）、中部4人、関西23人（うち大阪府13人）、中国14人（山口県除く）、九州10人

■萩・魅力パスポート

冬の萩でお得にまち歩き、味めぐり・湯めぐりができます（今年3月31日まで）。萩博物館、萩・明倫学舎が期間中何回でも無料で入館できます（2020年3月31日まで）。萩・魅力パスポートを利用して萩を楽しんだら、萩の魅力をSNSや口コミでぜひ発信してください。



■学ぼう萩・学ぼう維新

山口県内小学生を対象に「松陰先生のことばを伝えよう」と題した朗唱コンテストを開催。1月27日、萩市民館で山口県内小学校9チームが朗唱を発表した。

萩の瀬付きアジや地酒を首都圏でPR! 「旅する新虎マーケット」 3月30日まで

東京・新橋と虎ノ門を結ぶ「新虎通り」。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、東京の新たなシンボルストリートとして整備された通りで開催中の「旅する新虎マーケット」。1月から3月30日まで、「明治改元150年」をテーマに、萩市と松山市、薩摩川内市が出演しています。

■萩の地酒と肴で乾杯

旅するスタンド「魚と肴のお店・萩」で提供される、萩自慢の食材を使ったランチは、ビジネス街のサラリーマンのお腹を満たします。



萩の瀬付きアジフライ定食(800円)

ふつくらとして脂ののった白身のフライが人気。添えられた夏みかんの爽やかな香りと特製タルタルソースとの相性は抜群です。さらに「見蘭牛スジカレー」は、とろけるように煮込まれた見蘭牛のスジと、香辛料のスパイシーな香りが食欲をそそります。ディナーメニューでは、店舗の名前のおり、萩の肴を、地酒や地ビールとともに楽しめます。「秋産ぶぐの湯豆腐」や「萩の板わさ」「剣先イカ白造りのおろし添え」など、萩が誇る一品が勢揃い。萩の5つの蔵元の地酒の飲み比べもできるなど、仕事帰りに同僚らと一緒に傾ける姿がみられます。また、「旅するカフェ」でも、「見蘭牛もつ」のトマトラグー生スパゲティ、「むつみ豚のミラノ風カツレツマルマレットソース」がディナーメニューで提供されています。

「旅するストア」では、萩焼や萩ガラス、竹製品など魅力ある萩の工芸品が販売されています。

■萩を旅したいという声も

1月26日、27日には、参加3自治体の特色を出した足湯イベントを実施。萩市は、足湯に「夏みかん」を浮かべ、地酒を楽しむなど

好評でした。参加者からは「夏みかんの季節に、萩にぜひ行ってみたい」といった声も聞かれるなど、首都圏での萩のPRの場としての役割を果たしています。終了まであと1カ月、萩の魅力を再発見できる「旅する新虎マーケット」にぜひお越しください。

■1月9日(火)～3月30日(金)
▽旅するスタンド「魚と肴のお店・萩」 11:00～21:00 (月曜日定休)
▽旅するストア 11:00～19:30 (月曜日定休)
▽旅するカフェ 11:00～23:30

東京都港区西新橋2丁目16番ほか(虎ノ門ヒルズ正面前近)
HPアドレス: <https://www.tabisuru-market.jp/>
アクセス 東京メトロ「虎ノ門駅」「神谷町駅」「霞ヶ関駅」、山手線「新橋駅」から徒歩約10分



旅するスタンド「魚と肴のお店・萩」

「松陰先生のことば」朗誦文

「1年生」

今日よりぞ 幼心を打ち捨てて 人と成りにし 道を踏めかし

「今日までは、親にすがり甘えていたが、小学生となった今日からは、自分のことは自分でし、友達と仲よくしよう。」

「2年生」

万巻の書を読むにあらざるよりは いづくんぞ 千秋の人たるをえん

「多くの本を読み、勉強しなければ、どうして名を残すような立派な人間になることができようか、しっかりと勉強しなさい。」

「3年生」

凡そ生まれて人たらば 宜しく人の禽獣に異なる所以を知るべし

「人間として生まれてきた以上は、動物と違うところがなければならぬ。どこが違うかというと、人間は道徳を知り、行うことができるからである。道徳が行われなければ、人間とは言えない。」

「4年生」

凡そ読書の功は昼夜を捨てず 寸陰を惜しみて是れを励むにあらざれば 其の功を見ることなし

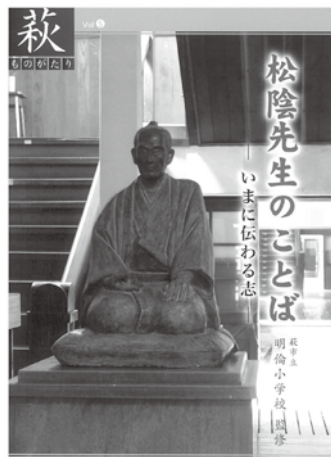
「読書の効果をあげようと思えば、昼と夜の区別なく、わずかの時間でも惜しんで、一心に読書に励まなければ、その効をみることはできない。」

(次号へ続く)

□萩ものがたり第5号

「松陰先生のことば」好評発売中(累計4万部発行)

510円(税込) 申込 萩ものがたり事務局 0838・25・3233



戊辰戦争150年 会津若松市との交流 白河市との交流

明治維新から150年にあたる今年は、多くの犠牲者を出した戊辰戦争から150年の節目でもある。その激戦の地と萩市との交流関係を深めながら近代化の光と影を振り返る試みは始まっている。

■会津若松市

会津藩校・日新館館長が秋で講演

戊辰戦争で長州藩と敵対した会津藩があった福島県会津若松市の「会津藩校日新館」館長の宗像精さん（84歳）が、昨年11月26日、松陰神社内の立志殿で講演した。



会津人の思いを語る日新館の宗像館長

萩市の医師（山本内科胃腸科医院）で「長州と会津の友好を考える会」代表の山本貞壽さん（椿東78歳）の働きかけで実現した。

戊辰戦争150年にちなんで、会津藩の歴史的な背景について理解を深めるために「戊辰150年の会津人の思い」と題して講演。会津藩は戊辰戦争で長州藩などの新政府軍に敗北。戦死者の遺体埋葬を禁じられたり、不毛の地・斗南藩（青森県）に領地を移されたりするなど、厳しい戦後処理を受けたと伝えられ、会津の一部では今でも長州に対してわだかまりが強く残るといふ。



「白虎隊自刃の図」を背にする山本貞壽さん



萩・明倫学舎

宗像さんは「150年たったが、仲直りは歴史の事実をご破算にすることだからできない。史実をきちんと残した方が相互理解につながる。交流を深め、長州と会津が一緒になって今後の日本の進むべき道を発信すべきだ」と話した。

また、「明治維新150年の節目でも、会津は戊辰戦争から150年でテーマも違う」と歴史の見方に違いがあることを強調。

一方、会津の元白虎隊士の山川健次郎が、長州藩士の奥平謙輔、前原一誠らに支えられて物理学者として勉学の道を進み、東京帝国大学、京都帝国大学、九州帝国大

学の総長にまでなったことに触れ、「長州藩がなかったら総長になるチャンスはなかった。長州よ、ありがとうと言いたい」と語り、史実を知ることの大切さを強調した。

会津と長州の交流に尽力する山本貞壽さん

講演会を主催した山本さんは、医師会同士で交流したり、萩市民で訪問団を作ったりし、2006年に「長州と会津の友好を考える会」を設立。会津若松の訪問は50回を超えたという。

「歴史の重みと和解の難しさを

観光客数 3%増の142万人 宿泊客数 5%増の43万人

萩市観光協会は2017年の萩地域（合併前の旧萩市区域）の観光客数を発表した。前年比3.3%増の142万870人で、そのうち宿泊客数は5%増の43万765人だった。

特に宿泊客数は、大河ドラマ「花燃ゆ」、世界遺産登録の効果で観光客数が200万人を突破した2015年の宿泊客数44万969人に迫る勢いだった。

■明倫学舎、DC効果

17年は新たな観光施設「萩・明倫学舎」が3月4日にオープン。開館1周年を前に2月9日、入館者が30万人を突破し、当初の目標を大幅に上回る盛況となっている。また、JR西日本による新たな列

車、トワイライトエクスプレス瑞風、観光列車「○○のはなし」の萩駅・東萩駅停車や、9月〜12月の山口DC（やまぐちデスティネーションキャンペーン）開催効果により多くの観光客を集めた。



■滞在型観光の推進

観光協会では、明治維新150年の記念の年を迎え、維新胎動の地としての発信を引き続き行い、豊かな自然や食、産品など萩ならではの魅力の発信を強化していきたいとしている。

萩市では、観光地域づくりの中心的な役割を担う萩版DMOの取り組みを強化し、観光客による市内での消費拡大を目指し、観光客の満足度を高めるなど、滞在型観光を推進し、宿泊観光客の増加を目指していきたいとしている。

痛感しているが、諦めてはいない。和解はならなくとも、できることをやっていこうと思う。これからも交流を深めるための事業を続けていきたい」と意欲を燃やしている。

■白河市

白河戊辰150周年記念事業・合同慰霊祭

新政府側と旧幕府側の激戦の地となった福島県白河市は、30年ぶりとなる両軍の合同慰霊祭を7月に開く。昨年12月1日、鈴木和夫白河市長が萩市役所を訪問し、藤道健二萩市長に出席を依頼するとともに、白河踊りを通じた交流や子どもたちの交流など相互訪問を提案し、藤道市長は快諾した。

■合同慰霊祭



鈴木和夫白河市長（左）と藤道萩市長

1868（慶応4）年の戊辰戦争で、奥羽列藩同盟軍と新政府軍が激戦を繰り広げた「白河口の戦い」では、両軍はもとより、白河城下は大きな被害を受けたものの、白河の領民たちは戦死者を敵味方隔てなく弔った。今年7月14、15日に萩市や鹿児島市などの関係者を招待して合同慰霊祭を開催する。

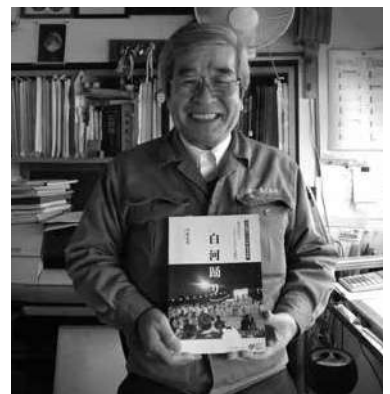
■白河踊り

白河口の戦い終結後、白河の領民たちは盆踊りで死者の霊を慰め、長州から参戦した隊士たちも踊りの輪に入って、戦没者の霊を慰めた。萩に帰ってからも「白河踊り」を踊ることが戦没者への慰霊であると考えられ、今でも萩市内の大井、田万川、むつみ、福栄、佐々並、中小畑、大屋、玉江、大島など19地区や、山口県内各地に伝承されている。

山口県の「白河踊り」を出版した萩の中原正男さん

萩市の建設業・株中原工務所の中原正男さん（樽屋町、67歳）が、山口県内に伝わる「白河踊り」を10年がかりで調査し、その成果をまとめた「白河踊り〜奥州白河からふるさとへ伝えた盆踊り」を出版した。中原さんは仕事の合間に、県内自治体、公民館、町内

＜著書「白河踊り」を持つ中原正男さん



会などを回り、言い伝えや歌詞、メロディーを録音したテープなどを収集し、萩市、山口市、阿武町、周防大島町など山口県内82カ所で踊られていることを初めて明らかにした。

中原さんは「150年前に遙か奥州白河の地で踊った盆踊りが、今でもしっかりと定着していることを多くの人に知ってほしい」と話している。

書肆侃侃房 1500円（税別）
問い合わせ 中原正男（0838・222・2039）



萩市が配備先の候補に陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」

政府は昨年12月19日の閣議で、北朝鮮の弾道ミサイルに対応するため、海上自衛隊のイージス艦に搭載している迎撃ミサイルシステムを、新たに地上に配備する「イージス・アショア」を2基導入すると決定した。

配備先は萩市と秋田市の陸上自衛隊演習場を候補地として検討している、と報道された。

■イージス・アショア

高性能レーダーやミサイル発射装置などで構成される。レーダーは強い電波を発するため、周辺の電波環境への影響や電波障害の有無を調査する必要がある。装備を提供する米国側の技術者も参加し調査した上で、配備先を正式に決定する。

イージス・アショアは陸上自衛隊が運用主体となり、2023年度の運用を目指す。イージス艦搭載の迎撃ミサイルを配備する海上自衛隊、地上配備型ミサイル「パトリオット」を運用する航空自衛隊とともに、陸海空の自衛隊が統合して弾道ミサイル防衛を担う体制ができる。候補地に配備すれば、日本全土をほぼカバーできるとい

■むつみ演習場

むつみ演習場は、萩市中心部から北東に約30キロ離れ、車で約1時間の山間部にある。1960年に開設され、陸上自衛隊山口駐屯地が管理、面積は約198ヘクタール。部隊は常駐せず、訓練時だけ使用している。むつみ地域の人口は約1500人、65歳以上の高齢化率は50%を超える。

藤道健二萩市長は「閣議で導入は決定されたものの、配備場所については何ら決定されていない」と承知している。一般論として、イージス・アショアを導入し配備する場合には、地元の理解と協力を得ることが必須であり、丁寧に説明があるものと聞いている」とコメントを発表した。



高俣地区にある陸上自衛隊むつみ演習場

まつうら つとむ
松浦 勉さん

(阿武町奈古出身、神奈川県横浜
市在住、萩高校昭和46年卒、65歳)



『トラフグ物語』を持つ著者



農林統計協会 2,800円(税別)

私とフグとの関わり

私の生家はフグ延縄漁業を営んでいました(富海江丸49トン)。その影響もあり、私のトラフグ調査は大学3年生の時に始まりました。当時の下関唐戸魚市場(株)では、その後社長になられた小野英雄さん(奈古出身)と松村久さん(萩市出身)に大変お世話になりました。

フグ延縄漁業は、韓国と国交樹立した1965年以降、黄海漁場が拡大し隻数が増えました。しかし、1980年に多数のフグ延縄漁船が中国の軍事警戒線を侵犯する事件が発生して、日中間の外交問題となりました。この当時、私は水産庁沿岸課係長でフグ延縄漁業を担当していたので、侵犯事件の再発防止のための水産庁長官通達を起草したことが思い出されま

す。現在のフグ延縄漁業は、漁場が山口県沖に縮小し隻数も減少しましたが、主に越ヶ浜漁船が出漁しています。60歳を過ぎてから、「フグ」と「定置網」の本をまとめました。フグと定置網は、いずれも阿武萩地区の基幹漁業です。これらの本は全国の動向をまとめたものですが、きっかけは故郷の漁業でした。私に色々な影響を与えてくれた父も昨年他界しました。

定置網の増加により再び漁村が活性化

阿武萩地区漁業は、フグ延縄漁船の減少により一時元気を失いましたが、最近では、定置網漁業によって再び元気になっていきます。阿武萩地区の大型定置網は数年前までわずか4か統(宇田郷尾無浦、越ヶ浜、大島、三見)でした。しかし、2016年以降大型定置網が宇田郷宇田浦と江崎に1か統ずつ、2013年には小型定置網が玉江浦に1か統敷設されました。これらの定置網は、最新の省人・省力化機器が導入されたため、イターンを含む若者が乗船しており、漁村が若返りました。

宇田郷の定置漁獲物は、萩地方卸売市場(道の駅萩シーマ)との隣)に出荷される他、阿武町内の奈古(道の駅阿武町)、福賀(福の里)、宇田郷(うおなの郷)の直売所に直送。また、江崎では「道の駅ゆとりパークたまがわ」に直送。鮮度が良くお手頃価格の魚を購入できるので、地元の人々が喜んでいます。

プロフィール

1952(昭和27)年11月、阿武町奈古生まれ。71年萩高等学校卒業。75年長崎大学水産学部卒業。76年水産庁に入庁。(この間、科学技術庁海洋開発課室長補佐、鳥取県農林水産部参事、宇宙開発事業団打上調整課長に就任)。

1999年に水産庁中央水産研究所経営経済部に配属(その後、独立法人化)。2006年に北海道大学から博士(水産科学)を授与される。13年に退職。

現在、中央水産研究所研究開発専門員。2017年に『トラフグ物語』(農林統計協会、単著)を刊行、18年2月に『頑張っている定置漁村』(農林統計協会、共著)を刊行予定。



道の駅阿武町の直売所 (阿武町提供)

須佐出身 101歳の洋画家

いりえ かずこ
入江 一子さん
(東京都在住)



自宅で話す入江一子さん

一日も早く内地に帰りたいという思いで、リュック一つで父の郷里須佐に戻ってきました。しばらくの間は益田中学校(新制)の美術教員として勤めました。

31歳のとき(昭和22年)、東京で女流画家協会が発足したことで、居ても立っても居られず、東京大森第一中学校に転任し、協会創立会員として参加しました。そして60歳(昭和51年)まで教員を勤めながら、制作活動を続けました。

テーマはシルクロード

入江さんが魅了された「シルクロード」をテーマとしての作画活動を始めたのは、53歳の時の台湾旅行からで、50歳を過ぎてからシルクロード30カ国以上を旅し、風景や人々を描いてきた。

そして84歳(平成21年)のとき、阿佐ヶ谷の自宅を改修して「入江一子シルクロード記念館」を開館。93歳のときニューヨークで個展「シルクロード色彩自在」を開催。

昨年2017年、100歳を記念した個展「入江一子100歳展『百彩自在』」を開催、NHK日曜美術館「青いケシを描く」洋画家・入江一子101歳のアトリエ」で紹介されるなど話題となりました。

101歳になられた今でも意欲的な創作活動を続け、まさに生涯現役の女流画家です。

入江さんに聞く

□シルクロードへの思いは

シルクロードは新鮮な色彩とパワーに溢れており、大地・自然の恵みやバザールの賑わいは、私に生きるエネルギーと情熱を与えてくれる、これ以上の幸せはない。

□須佐の思い出は

須佐は本当に海がきれいです。幼少のころ夏休みによく祖父の住む須佐に韓国から里帰りし、きれいな海で遊んだことが懐かしい。

祖父が足の届かない深い所に私を置いてきぼりにし、泳がないと帰れないので泳ぐことを覚えた。だから学校でも水泳は得意で、いつも一番だった。

□絵を描くことの活力は

とにかく絵が大好きなこと。年間300点くらい、1日1枚のペースで描いています。集中する時間は30〜40分程度で、休憩しながらのんびり描くことが多いです。

がらの繰り返しです。最近ようやく絵のことを分かり始めた気がします。

□好きな食べ物

韓国で生まれたせい、辛いものが好きで、キムチやからし明太子が大好き、肉も焼肉とかステーキも食べます。

(須佐公民館だより17年12月号から)

■入江一子シルクロード記念館

住宅を改築して2000年に個人美術館をオープン。

東京都杉並区阿佐ヶ谷北2・8・19

(JR阿佐ヶ谷駅下車徒歩6分)

開館…金・土・日曜日11〜17時

入館料…500円

■本の紹介

「101歳の教科書 シルクロードに魅せられて」洋画家・入江一子 生活の友社、1000円(税別)



「イスタンブールの朝焼け」
1975年 100号F



※16ページに作品2点(カラー)を掲載。

東京都杉並区阿佐ヶ谷にお住まいで、101歳を超えてなお創作意欲に溢れる女流画家、入江一子さんをご紹介します。

韓国〜東京〜須佐〜東京

入江家は、萩藩水代家老益田家の家臣で山根丁(公民館の東側)に居を構えていました。

入江一子さんは、貿易商を営む父の關係で、大正5年(1916)5月に韓国の大邱で三人姉妹の長女として生まれました。入江さんが6歳のとき父が33歳の若さで亡

くなりました。

18歳(昭和9年)の時、東京の女子美術専門学校(現・女子美術大学)に入学、作画活動に意欲を燃やすなか、22歳のとき、大正末期から洋画家として活躍する林武と出会い、生涯師事することになる。

29歳(昭和20年)東京空襲を避けるため、韓国大邱に疎開、8月に終戦を迎えた。その時生まれ故郷の大邱が外国であることを初めて知ったという。

白井孝明さん たかあき (30歳)



萩ジオパーク専門員の白井孝明さん（萩・明倫学舎内のジオパーク・ビジターセンターで）

化石に興味

出身は静岡県・富士市、小学5年生のときにNHKスベシヤルが地球の歴史を扱っていた回を見て、化石に憧れるようになりまして。というのも、富士市は富士山の麓にあり、溶岩で囲まれた地域で化石とは縁遠く、少年心にとっても関心を抱きました。その後、高校を卒業し、東北大学理学部に進学、地学を専攻し、同大学院で修士課程を修了しました。

ジオパーク専門員になろうと考えたのは、大学在学中に東日本大地震を経験し、被災地での復興作業や教育普及活動に関わる中で、地震や火山噴火をはじめとする自然災害の絶えない日本において地球科学が社会に対して果たすべき使命を感じたからです。そうして、卒業後は現在ユネスコ世界ジオパークに認定されている高知県室戸で、3年間ほどジオパーク地質専門員として働きました。

一つの地域では…

萩に初めて訪れたのは一昨年。前回萩市がジオパーク認定の申請を出したときで、審査員の一人としての立場で来たのですが、そのとき、萩は地形・地質が面白いだけでなく、人の歴史や文化に関わ

るものが多く残っていて、大きな可能性を感じました。

というのも、ジオパークというプログラムは日本全体、地球全体で人間社会と地球の係り合いを考えるもの。当時、偏狭の地である室戸で人間社会と地球活動を結びつけるのには限界があると感じていました。

萩は地形や地質を巧みに利用することで城下町という一大都市が築くまでに至った人の歴史や文化がわかる場所で、そういう意味では、人間社会のあり方というメッセージを伝えられる可能性が十分にあると感じたからです。そうして、萩ジオパーク構想推進協議会へ席を移すことを考えました。

ポテンシャルの高さ

ジオパークのプログラムは、世界遺産等とは違い、過去に築かれた今の時代に遺されたものだけでなく、今を生きている地域の人々が、その土地で生まれた文化や歴史と現在が、いかに大地と関連しているか認識を深め、そして未来へと保全・保護しながら活用していく意識を高めていくことが必要とされます。

萩市には、人の歴史や文化、また阿武火山群、長門峡等々、地学的な面をみてもジオパーク活動の素材となる要素が豊富で、そのポ

テンシャルの高さを感じています。しかしながら、それぞれがバラバラで、住民の認識もまた低い状態です。それらを有機的に結びつけ、住民の認識が高まるよう、昨年はジオマスター講座を12回開催し、100名以上の方が参加してくださいました。

萩から世界へ

ジオパーク構想は、世界遺産登録のように地域振興としてレスポンスの良いものではないので、なかなか住民の心に響き難いものです。しかしながら、人間社会は大地や自然があつてこそのものであり、それに逆らつては発展しえないもの。短期ではなく長い目で、地域社会を発展させていくためにはとても重要なプログラムだと考えています。

日本を動かし、世界に影響を及ぼした明治維新。その胎動の地・萩だからこそ、既にジオパークに認定された地域ともつながり、地球と共生する人間社会のあり方を全世界に向けて、今一度問いかける役を担えるのではないかと考えています。

未来のために、萩の多くの方々、ジオパークのプログラムに触れ、認識を高めてもらえるよう、今後いろいろな取り組みを行っていききたいと思います。

萩市の貴重な大地の資産を保全し活用するまちづくりを推進し、ジオパーク認定を目指し、2015年に発足した萩ジオパーク構想推進協議会。

高知県の室戸ユネスコ世界ジオパークより萩ジオパーク構想推進協議会へ席を移されたジオパーク専門員・白井孝明さんにお話を聞きました。

認定への後押しをと昨年4月、

一皿フレンチとお酒のお店

ブ ラ ッ ス リ ー ラ ボ
Brasserie Lab



大カサゴのカマのオープン焼き



自家製シャルキトリ 4種盛合せ



ベルギー・ビール
「ベルビュー・クリーク」



店主の中村浩二さん



クラフトビール各種

萩市東田町の中村会館2階に店舗を構える一皿フレンチとお酒のお店・Brasserie Lab (ブラッスリー・ラボ) を紹介します。

◆食材やお酒を見極める目をまつ
店主

店主の中村浩二さん(39歳、萩商業高平成9年卒)は、修行時代、東京のフレンチベースの創作レス

トランから、ビストロとバー、カフェ、パン屋さんを複合したフレンチレストランで働き、その後フランスで仕事をしてみたいと、フランス領モナコ公国に渡り、和食の鉄板焼きレストランに身を置きながら、フレンチと一緒に和食をも学んできた料理人。

また、自家製シャルキトリ(ハムやソーセージ、テリーヌなど豚肉の加工品)とベルギービールを売りにしたお店やクラフトビールの立ち上げにも関わった経歴もあり、料理人としての腕前だけでなく、食材やお酒を見極める目をもっているスペシャリティな店主。

◆ビストロとバーを複合したようなお店

そんな中村さんが、地元萩でも気軽に料理を分け合いながらお酒を楽しめるビストロとバーを複合したようなお店を持ちたいと、一念発起してオープンしたのが2015年で、今年の7月で丸3年が経ちます。

店内は木の温かみを感じるログハウス調になっており、フレンチながらも敷居が低く、家庭的な雰囲気です。食卓とお酒と会話を楽しめます。

サービスの方は、小皿料理や前菜、サラダ、メイン、食後のデザートに至るまでアラカルトで注文でき、さらに居酒屋や食堂のような価格で提供され、メニューに目を

通すと、フレンチのお店ということを一瞬忘れれます。また、オープン当初からあるグランドメニューの他、日替り、季節替りの限定メニューも用意され訪れる食通をうならせます。

◆パーティープランもあります

そして、前述したように、料理だけでなく、料理に合うワイン、そしてビールも世界各地のものを取り揃えており、来店の度に違うお酒を選べるのも楽しみのひとつ。家族でも、少人数のお友達でも、団体でも気軽に楽しめるお店であり、市外から来られたお客をお連れしても「萩に和食以外で、こんな良いお店があるんだ」と喜ばれるお店です。

■Brasserie Lab(ブラッスリー・ラボ)

萩市東田町111・3中村会館2F

営業時間/17時~24時

(フードは22時オーダーストップ)

定休日/不定休

パーティープラン/夜コース1人

3000円~(ドリンク料金別

途、5000円~(2時間飲み

放題付き)

※予約制、昼夜ともに6人以上

その他/店内18席(カウンター6

席のみ喫煙可)、個室あり(約20

人収容)

TEL0838・21・7252

連載 萩の産業遺産を歩く(五)

―青海郡司鑄造所跡―

道迫真吾 (萩博物館主任学芸員)

もう一つあった

「郡司鑄造所跡」

前回まで、「郡司鑄造所跡」といえば松陰神社のそば」ということを前提に、長々と説明を続けてきた。

しかし実は、江戸時代の萩にもう一カ所、現在の萩市椿青海地区に郡司鑄造所が存在していた。そこで以下では、二つの郡司鑄造所跡を明確に区別する必要から、便宜的に、松陰神社そばのそれを「松本郡司鑄造所跡」とし、今回とりあげる青海のそれを「青海郡司鑄造所跡」と称することにしたい。

青海の郡司鑄造所でも、松本の鑄造所と同様に、生活用具・農具・梵鐘・大砲など、様々な鑄物製品を生産していたと考えられるが、その存在は、現在ではよほど詳しい方にしか知られていない。近隣に目印と呼べるような場所はなく、大体、大照院と椿八幡宮との間あたりとしか表現のしようがない。正直に言えば、現在でも筆者は、そこにたどり着くまでにしばらく近辺をウロウロするほどで、大変わかりにくい。鬱蒼とした藪の中から仕方がないのかもしれない。

だが逆にいえば、藪の中だからこそ、手付かずのまま残ったのだともいえる。

周知の埋蔵文化財包蔵地

萩市公式ホームページに、「萩市内周知の埋蔵文化財包蔵地一覧表」が掲載されていることをご存知であろうか。このリストには一六〇もの物件が列挙されており、青海郡司鑄造所跡は八四番目に記載されている。同ホームページによれば、「周知の埋蔵文化財包蔵地」とは、「埋蔵文化財は、地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産です。しかし、土の中にあり正確な内容を知ることが困難です。このため、埋蔵文化財があると考えられる土地を「周知の埋蔵文化財包蔵地」として決定し、開発等を事前に把握することによって埋蔵文化財の保護を図っています」と説明されている。要は、萩市内に限定しても、地中に埋もれたままの考古遺跡はかなりの数にのぼるのである。

理想としては、遺跡を発掘して色々と解き明かすことができると想像するもの、これぞまさに「言うは易く行うは難し」である。

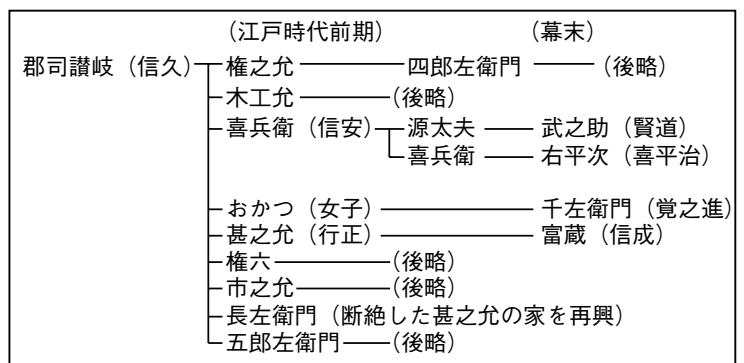
発掘するには、人やお金、時間のほか、様々な問題をクリアしなければならぬからだ。そこで今回は、考古学的見地を抜きにして、文字史料や器物を頼りに、青海郡司鑄造所跡について簡潔に紹介したい。

複雑な青海郡司鑄造所の継承者

前回にも触れたが、長州藩に大砲鑄造技術を認められて召し抱えられた郡司讃岐は、松本に鑄造所を開設して三男喜兵衛(信安)に受け継がせた。隠居後は、青海にも鑄造所を開いて四男甚之允(行正)に受け継がせた。讃岐の子孫は、系図を見ればわかるように、多数に枝分かれしている。

その後の青海の鑄造所を見てゆくと、理由ははっきりとしないが、四男甚之允の家は断絶を命じられる。そこで、讃岐の七男長左衛門が藩に嘆願して再興を許された。その跡を、讃岐の長男権之允の孫四郎左衛門が受け継ぐ。幕末には、甚之允の流れを汲む富蔵(信成)が青海の鑄造所を営んでいた。富蔵は細工人(藩お抱え鑄物師)として、十石を給されていた。なお、松本鑄

郡司家略系図



造所の右平次も細工人で、二十七石五斗を給されていた。

英国に現存する富蔵作の「長州砲」

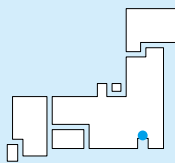
富蔵については史料や文献がほとんど残っていない。ところが、彼が造った大砲がイギリスに現存する。そのことがよく知られるようになったのは、約十年前のことである。その経緯は、富蔵直系のご子孫、郡司健氏(大阪府在住)が精力的に、現存する「長州砲」を調査した成果である『海を渡った長州砲』(秋ものがたり、二〇〇八年)に詳しい。

それによると、従来、ロンドンに郡司右平次と郡司富蔵が造った二つの「長州砲」が現存することは知られていたが、詳細は不明であった。そこで、郡司健氏はそれらを収蔵する王立大砲博物館で調査を行い、寸法や銘文などのデータを収集した。いずれも天保十五年(弘化元年、一八四四)の作で、一貫目玉を発射する大砲であった。これらは、元治元年(一八六四)下関戦争に長州藩が敗戦した結果、分捕られたもので、下関市立歴史博物館に展示中の荻野流一貫目青銅砲とほとんど同じ仕様で造られている。ちなみに、一貫目玉は、二・七五kgの砲弾の意である。

これらは和式大砲に分類されるが、果たして青海郡司鑄造所で、松本と同様の洋式大砲も鑄造していたのであろうか。筆者は現時点では、史料を調査する限り、それはなかったと考えている。残るは現場の確認、つまり発掘してみないことには、どうにもならない。



英国にある「長州砲」、手前が郡司右平次作、奥が郡司富蔵作(2007年筆者撮影)



「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿 11月18日 日立金属 高輪和彊館 (東京都)

東京須佐弥富会



お陰様で第25回東京須佐弥富会も、益田ご本家をはじめ多数のご参加をいただき無事終える事ができ、ありがとうございます。

今回は、須佐より吉田満公民館館長をお招きし「いまの須佐、これからの須佐」という演題で地域振興の取り組み状況をお話いただきました。みなさん熱心に聞き入っておられました。

事務局 勝山義康(神奈川県)
NPO法人「須佐元気なまちづくりネット」のブログもご覧ください。
<http://blogs.yahoo.co.jp/susageninet>

※萩ネットワーク1月号掲載の「指月中8期同期会」の開催日を10月6日に訂正します。

会員投稿 11月19日 八吉 (東京都)

萩商工11期(昭和34年卒) 喜寿のクラス会(関東)



萩商工第11回生C E (土木科) 34年卒の関東在住者を主体にしたクラス会です。前は還暦祝い、今回は喜寿祝いを東京上野の天地旬鮮「八吉」で開催しました。

参加者は7名で遠くは福岡、福島からも参加されました。前回から17年経過し、大病もなく元気な姿を拝見でき長寿社会を実感しました。久々の会ですから郷土への思い、友人や各自の近況等々話題に花が咲き、和気あいあいに喜寿(77歳)を祝い、交友の絆が深まりました。

次回は傘寿(80歳)に開催します。
事務局 石村義昭(神奈川県)

学校だより

小中学校の統廃合

会員から母校の閉校についてご質問がありましたので、最近の小中学校の統廃合についてお答えします。

萩地域

平成28年 大井小学校を大井中学校に併設

平成30年 木間小中学校が閉校(予定)

田万川地域

平成15年 多磨中学校、小川中学校が閉校し、新たに開校した田万川中学校に統合

むつみ地域

平成10年 吉部小学校、高保小学校が閉校し、新たに開校したむつみ小学校に統合

須佐地域

平成16年 弥富中学校が閉校し、須佐中学校に統合

旭地域

平成25年 佐々並中学校が閉校し、明木中学校に統合

平成28年 明木中学校を旭中学校に改称し、明木小学校に併設

福栄地域

平成8年 福川中学校、紫福中学校が閉校し、新たに開校した福栄中に統合

平成28年 福川小学校と紫福小学校が閉校し、新たに開校した福栄小学校に統合、福栄中学校に併設

阿武町

平成21年 宇田小学校を閉校

平成23年 奈古小学校を阿武小学校に改称

大井小中学校 (大規模改修した大井小学校の旧校舎に、今年4月に大井公民館・出張所が移転する)

小中学生が10年間で30%減少

萩市内の小中学校の児童・生徒数は、平成17年の合併後、平成18年と直近の29年を比較すると、小学生は2767人が1942人、中学生は1495人が1041人と30%減少している。

人が減る。それは日本全体の止まらない大きなうねりになっている。国ぐらゐの少子化対策にも大きな改善は見られず、生まれてくる子どもの数は減少傾向が続いている。



全国移住ドラフトで3選手を指名、交流始まる。 21世紀ラボが中四国で唯一参加

欲しい人材とのマッチングを図る

昨年11月25日・26日の2日間、東京都の大和ハウス本社などを会場に、全国で移住を進める12の地域が参加し「みんなの移住ドラフト」(全国移住ドラフト)が行われ、阿武町から「21世紀の暮らし方研究所」が、中四国地方唯一の参加団体として出場しました。

この「移住ドラフト」は、近い将来移住を希望する移住希望者を選手、移住者受け入れに積極的な地域コミュニティを球団として、野球のドラフト会議さながらに、

町に欲しい人材をドラフト対象として指名する形で、マッチングを図る移住イベントです。

指名が成立すれば、指名した選手との1年間の独占交渉権を得ることができ、イベントの前提として移住はしなくても良いということ。地域との関係性を作るきっかけであり、生きたい場所できていることができる人の旗印となるのがこのイベントの目的です。

このような従来の移住イベントとの切り口の違いから、20〜30代でスキルを持った参加者が多かったことに加え、全国の移住先進地が参加する中でも、阿武町の持つ可能性や等身大の姿に共感する参加者も多く、会議では3巡目までの選手を順当に指名することができました。

21世紀の暮らし方研究所とは

移住ドラフトに参加した「21世紀の暮らし方研究所」(通称:ラボ)は、地方創生の流れの中で「阿武町版総合戦略」を推進するための活動母体として2016年に発足したチームです。まちの取り組みに関心があれば町内外を問わず参加することができ、ワークショップ

プやDIYなどを行う講座には毎月約30人が参加。これまで21回の開催を重ねています。

ラボは居住地や年齢・性別にとられない緩やかなつながりを創り出しており、まちづくりや町に関心ある人のプラットフォームとして機能。先般ドラフト参加者も1月には講座に参加しました。

素早く足を運ぶ若者たち

ドラフト会議後、さっそく12月末から「阿武町を体感したい」と指名者が町を訪れはじめ、1月末までにドラフトに参加した7人の若者が実際に町に足を運んでいました。

「うちの町に来て欲しい」だけでは人は動かない時代。「うちはこんな人を求めている」「こういう関わりはできないか」とお互いが一緒に何ができるのかを考えながら、双方の理解を深め、移住も選択肢の一つとして視野に入れながら、つながりを強くしていく予定です。



町職員(右から2番目)と移住希望者

福栄黒川に山口県最大級のメガソーラーが完成

山口県内最大級の太陽光発電施設「山口・萩メガソーラー発電所」が、萩市黒川に完成し、1月11日に竣工式が行われた。

全国で57カ所のメガソーラーを開設している「京セラTCLソーラー合同会社」(本社:東京都)が、民有地を借りて建設、運営する。事業費は約60億円。

かつて産業廃棄物処分場が計画された土地約55ヘクタールに、太陽電池パネル約7万8千枚を設置し、年間の予想発電量は約2300万キロワット時(一般家庭の約7730世帯分)を見込む。昨年12月から稼働し、今後20年間、中国電力に売電する計画。



山口・萩メガソーラー発電所(京セラ提供)



福栄小中学校



校舎解体前の旧明木中学校

情報アラカルト

関東地区

ふるさと萩・小川会

田万川地域小川出身者の関東地区同郷会。

6月24日(日) 正午～午後3時
東京都品川区大崎1・6・2

ニューオータニイン東京
(JR大崎駅東口から徒歩5分)
(090・9673・2296)佐伯

■「ちりめん細工の今昔」展
日本玩具博物館の主催で、萩市在住の森重耐子の作品が出品されます。

1月23日(火)～4月8日(日)
東京都墨田区横川1・16・3
たばこと塩の博物館
(03・3622・8801)

■「兼田昌尚展 陶、18―窯炎のチカラ」
陶芸家、兼田昌尚の個展。

3月21日(水・祝)～27日(火)
東京都中央区日本橋室町1・4・1

1 日本橋三越本店 本館6階美術特選画廊(03・3241・3311)

■下瀬信雄写真展
「蛇田舞 (jama's vu)」

5月30日(水)～6月5日(火)
午前10時30分～午後6時30分

東京都中央区銀座7・10・1
STRATA GINZA1階

銀座ニコンサロン
(03・5537・1469)

東海地区

「水津和之陶芸展」

陶芸家、水津和之の個展。
3月21日(水・祝)～27日(火)

名古屋市中区栄3・5・1
名古屋三越栄店
(052・252・1111)

関西地区

大阪指月会

関西地区の萩同窓会。

4月15日(日) 正午～午後2時30分
大阪市淀川区宮原4・2・1
ホテルメルパルク大阪

(JR新大阪駅から徒歩5分)
(090・1717・3946)伊藤

■下瀬信雄写真展

「蛇田舞 (jama's vu)」

6月28日(木)～7月4日(水)
午前10時30分～午後6時30分

大阪市北区梅田2・2・2
ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー13階
大阪ニコンサロン
(06・6348・9698)

中国・四国地区

■「日本伝統工芸展・巡回展」

陶芸家・岡田裕、岡田泰、玉村

信一、波多野善蔵、松尾藻風の作品が入選しました。
2月23日(金)～3月11日(日)
広島市中区上幟町2・22
広島県立美術館
(082・221・6246)

九州地区

■「水津和之 茶陶展」

陶芸家、水津和之の個展。

4月11日(水)～17日(火)
福岡市中央区天神1・4・1
大丸福岡天神店 本館6階アートギャラリー
(092・712・8181)

山口県関係

■「小田善郎作品展」

美祿市在住の画家・小田善郎(萩高校昭和45年卒)の個展。「顔遊びシリーズ」など30年間の作品。

1月13日(土)～3月11日(日)
観覧料 一般200円、学生100円

周南市富田永源(永源山公園内)
周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館 中・小展室
(0834・623・3119)

■毛利博物館企画展「お雛さま」
藩主毛利敬親の夫人、都美姫所用の「有職雛」と「次郎左衛門雛」二組と毛利家ならではの豪華な雛道具も公開します。

2月10日(土)～4月8日(日)
午前9時～午後5時

4月からマイナンバーカードで戸籍証明書を全国のコンビニで取得できます

萩市では4月1日から、マイナンバー(個人番号)カードを利用して、全国のコンビニエンスストアに設置されているキオスク端末(マルチコピー機)で各種証明書が取得できるコンビニ交付サービスを開始します。

本籍地が萩市で、これまで郵送による戸籍謄本等の請求をされていた市外在住の方は、ぜひコンビニ交付サービスをご利用ください。

■利用するために必要な準備

①利用者証明用の電子証明書が搭載されたマイナンバーカードが必要です。

※マイナンバーカードをお持ちでない方は、住所地の自治体で、カード交付申請をお願いします。申請後、1カ月程度で受け取りができます。詳しくは、住所地の自治体にお問い合わせください。

②本籍地が萩市で、住所地在市外の方は、4月1日以降にキオスク端末やインターネット端末により事前の利用登録申請が必要です。

登録申請後、1週間程度で、コンビニ交付サービスを利用できます。詳しくは、萩市ホームページを確認されるか、お問い合わせください。

■取得できる証明書 戸籍全部・

個人事項証明書(戸籍謄抄本)、戸籍の附票の写し

※証明書は、いずれも現在のものに限りません。除籍、改製原戸籍は、取得できません。

■利用時間 午前9時～午後5時
※土・日曜日、祝日、年末年始及びシステム休止日を除く。

■利用できる条件
萩市内に本籍のある方

※萩市以外に住所のある方は、事前に②の申請が必要です。

■問い合わせ 萩市市民課
(0838・253・400)



入館料 博物館700円・庭園400円(小中学生は半額)
防府市多々良1・15・1
毛利博物館
(0835・222・0001)

■「村田清風記念館」リニューアル
開館以来約23年ぶりにリニューアルオープン。陣羽織や甲冑などの遺品と資料約100点を展示併せて周布政之助を紹介する。
午前9時～午後5時(火曜日休館)
観覧料 一般・大学生200円、小中高生100円
長門市三隅下2510・1
村田清風記念館
(0837・433・2818)

萩市関係

■萩・明倫学舎感謝祭〜ありがとう1周年〜
3月3日(土)、4日(日)
午前9時～午後5時
・もちまき 14時
・松陰先生の朗唱教室 3日14時30分

新規(再)加入会員

河口健次郎 (萩市)
井関隆行 (福岡県福岡市)
小田達雄 (阿武町)
中島義之 (萩市)
津田悦夫 (福岡県久留米市)
玉生征人 (東京都練馬区)
本田正勝 (大阪府堺市)
(12月21日～2月20日 7人)

・もちのつかみどり 4日9時
・松陰ミュージカル 4日11時、13時、14時、15時30分
・公開講座「小川是苦集(コレクション)のあれこれ②」 4日13時30分～など
萩・明倫学舎
(0838・211・2018)

■第38回萩・しろ魚まつり
おどり食い無料サービス第1部(10時30分)、第2部(13時)各2千人分、しろ魚料理(雑炊)の販売、しろ魚即売など
3月4日(日)午前10時～午後3時
山口県漁協萩地方卸売市場・道の駅萩しーまーと
(0838・244・4937)

■第12回萩の真ぶぐまつり
真ぶぐ刺身・ミガキの特売(10時15分)、真ぶぐお刺身無料試食(先着500人、11時)、真ぶぐ寿司の販売(限定1000パック・12時)など
3月11日(日)午前10時～午後2時
山口県漁協萩地方卸売市場・道の駅萩しーまーと
(0838・244・4937)

■熊谷美術館特別展「無事は貴人・聖賢の書」
熊谷家250年の節目の年に、千利休の書など未公開の所蔵品を中心に、西郷隆盛「報国」など熊谷家伝来の書を表示。昨年好評を博した雲谷等瑠「花鳥図屏風」もアンコール展示。

3月10日(土)～6月10日(日)
休館 月・水・金曜日(祝祭日は開館、翌日休館)
萩市今魚店町47 熊谷美術館
(0838・222・7547)

■吹奏楽による組曲「吉田松陰」
吉田松陰の半生をモチーフにした音楽組曲「吉田松陰(合唱付)」が24年ぶりに萩市で初の吹奏楽により再演されます。
4月22日(日)午後2時
萩市民館大ホール
前売券 一般1500円、高校生以下500円(当日券は500円増)
(問) 萩発愛のメッセージ
(0838・255・3215)

■萩市民音楽祭特別公演「ウィーン少年合唱団 萩公演」
5月11日(金)午後6時30分
萩市民館大ホール
入場料 S席4500円、A席4000円
(問) 萩音楽協会
(0838・266・3510)

出版情報

■「明治維新とは何だったのかー薩長抗争史から『忠実』を読み直す」
薩摩・長州の出身者が主導した幕末維新の出来事を一次史料から丹念にたどる。黒船来航から維新に至るまでの両藩の抗争や同盟を、豊富なエピソードで解説する。

著者は萩博物館特別学芸員の坂太郎。
創元社 定価1620円(税込)

映画・ラジオ情報

■NHK・Eテレ「知恵泉」(全国放送)
「日本鉄道の父・井上勝」プロジェクト成功の知恵(仮)
放送予定 3月13日(火)午後10時～10時45分
再放送 3月20日(火) 正午～午後0時45分

お知らせ

■「市報萩」配信中
無料アプリ「マチイロ」をダウンロードして、「お住まいの地域」に萩市を登録すると、毎月市報の発行日にスマートフォンやタブレットにお知らせが届き、いつでもどこでも萩市の広報紙「市報」を読むことができます。



(問) 萩市広報課
(0838・255・3178)
■「2018冬のぶらり萩あるきパスポート」
冬期に楽しめる、市内34の飲食・おみやげ店や日帰り温泉7施設の情報を集めた。料金割引やドリンクサービス、萩博物館や至誠館などの観光施設でも使えるクーポン付(クーポン利用期間は3月31日まで)。JR萩駅隣の萩市観光協会や市役所観光課などで無料配布。
■選挙日程
萩市議会議員一般選挙
投票日 4月22日(日)
今回から議員定数が20人(改正前26人)。

プレゼント

①萩しーまーと提供「真ぶぐ刺身」2人分を(約30切)を1名様
■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。3月20日必着。

編集後記

・ネットワーク会員から、帰省した時の飲み屋を教えてくださいとの要望があり、今回から「くちこみグルメ」を定期的に紹介します。
・10年以上前から、白河踊りの調査を続ける中原正男さん、会津若松市との民間交流を続ける山本貞壽さんの地道で粘り強い活動を多くの人に知ってほしい。
・北朝鮮の挑発が国難として叫ばれる中、巨費を投じてミサイル防衛システムの拡充を図る日本は今、アメリカの軍産複合体制にさらに深く組み込まれつつある。
(広報特別参写 山本章三)

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送
発行月 1・3・5・7・9・11月号
(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,700人

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

～3月21日(水・祝)10:00～
◇萩・椿まつり 笠山椿群生林

3月3日(土)・4日(日)・10日(土)・11日(日)
10:00～16:00
◇萩往還梅林園まつり 萩往還梅林園

～4月3日(火)
◇萩城下の古き雛たち 旧久保田家住宅ほか 17カ所

3月1日(木)～11月30日(金)9:00～16:00
◇萩八景遊覧船の運航 萩城跡対岸指月橋

3月4日(日) 10:00～15:00
◇萩・しろ魚まつり 道の駅「萩シーマート」横

3月11日(日) 10:00～14:00
◇萩の真ふく祭り 道の駅「萩シーマート」横

5月1日(火)～5日(土・祝)9:00～17:30
◇萩焼まつり 萩市民体育館

5月3日(木・祝)・4日(金・祝)10:00～15:00
◇萩・大茶会 萩城跡指月公園ほか

101歳の洋画家 入江一子作品集



「イスタンブールの朝焼け」1975年
中国大陸の紅い夕焼けから、トルコの真っ赤な朝焼けまで。どこまでも美しい光と色を追い求めました。



「トルファンの祭りの日」1981年
今でも歌が聞こえてきます。異教の人びとの幸せと色彩に満ちた祭りの光景を描きたいのです。

「瑞風」萩への立ち寄り
観光スケジュール

3月11日(日)
5月13日(日)
6月10日(日)
8:40 東萩駅到着
12:08 萩駅出発(予定)

萩博物館だより ☎0838・25・6447

冬期企画展「萩の鉄道ことはじめ」

～4月8日(日)

阿武町にある惣郷川橋梁(昭和7年完成)の工事写真を初公開!
大正14年に美祢線の長門三隅～萩駅間が開業。橋梁完成後の昭和8年に須佐～宇田郷間が開業。美祢線だった萩地域の鉄道が山陰本線に編入され、ようやく現在の山陰本線、京都～下関幡生間が全通した。



工事中の惣郷川橋梁



現在の惣郷鉄橋、坪井雅幸さん(萩市堀内)の撮影

企画展「萩博 美のイッピン! (第1期)」

4月14日(土)～6月3日(日)

■観覧料 一般510円、高校・大学生310円、小・中学生100円
■休館日 なし(年中無休)



トワイライトエクスプレス瑞風

鉄道写真は全て萩博物館提供

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

企画展示

「第41回山口伝統工芸展」 4月12日(木)～22日(日)
「浮世絵最強列伝～江戸の名品勢ぞろい」展 4月28日(土)～5月27日(日)

普通展示

◆浮世絵「勝川春章とその一門」 ～3月11日(日)
「安永・天明期の美人画」 3月21日(水・祝)～4月22日(日)
◆東洋陶磁「碗の世界」 ～5月27日(日)
◆陶芸・工芸「華やぎのかたちー染野夫妻コレクション」 ～5月27日(日)
◆陶芸「オブジェー陶造形の潜勢力Ⅲ」 ～3月11日(日)
「陶ー生命の賛歌Ⅱ」 3月21日(水・祝)～

■観覧料 普通展示 一般300円、学生200円、70歳以上・18歳以下の方は無料

■休館日 月曜日、3月12日～20日(展示替えのため)